

2018 年度下期 助成金交付先

2018 年度下期 助成金交付先として、以下の 3 先を選出し、2 月 8 日に交付式を行いました。

< 1 >

交 付 先 株式会社 ワノケア（千葉市緑区）

代 表 者 代表取締役 永 井 幸 絵

業 種 介護用品の企画開発、販売

業務内容・研究開発内容

【 介護洗髪を手軽に！ 使い捨て洗髪用具の開発と販売戦略 】

病院・介護施設・在宅等において、とかく敬遠されがちな「寝たきり要介護者（臥床者）の洗髪」を誰もが手軽に行えるようにするための「使い捨て洗髪用具“パパットケリー”」を開発。開発に際しては、介護施設や訪問サービス事業者、福祉専門学校で多くのフィールドテストを実施し、介護従事者等、現場のニーズ・声を踏まえて、改善を加えた。

当社製品の優位性は、「①少ない湯量で洗髪が可能」、「②多くの汚水を溜められる」、「③使い捨てで衛生管理の手間が少ない」、「④コンパクトで保管スペースに困らない」、「⑤誰もが簡単に使える」等。

介護用品を取り扱う大手代理店やECサイトを通じた販売に加え、ドラッグストア等での販売に向けた営業活動に注力中。在宅介護需要が高い中国等での販売も視野に入れている。

< 2 >

交 付 先 ヤマモトホールディングス 株式会社（松戸市）

代 表 者 代表取締役 山 本 英 明

業 種 建築・リフォーム工事、ガラスコーティング剤の開発・製造・販売

業務内容・研究開発内容

【 ガラスコーティング剤“ハドラス” 自動塗布装置の開発 】

当社の主力事業は、住宅リフォームの外壁塗装であり、外壁塗装の「経年劣化」や「はがれ」を課題として捉え、その解決策としてコーティング剤の研究を続けるなか、「万能型ガラスコーティング“ハドラス”」を開発。

“ハドラス”を塗布すると、金属・樹脂・皮革・木材・石材等、あらゆる素材の表面に、ナノレベルの緻密なガラス膜が形成され、防傷・防汚・防水・防錆・防カビ・耐磨耗効果等の発現により、素材の概観・意匠性を変えずに保護することが可能となる。

開発に際しては、公的研究開発機関と連携、検証実験等を行ってきた。現在も、大学・公的研究機関との共同研究体制を継続し、さらなる品質向上、新用途の開拓に取り組中。

今般、大量（広面積）の塗布を要する大型受注の獲得に伴い、大量販売に向けた塗布作業の効率化・スピードアップの観点から、現在手作業で行っている塗布作業の自動化・機械化を計画。今回助成金は、自動塗布機械の開発・製造費として活用する。

< 3 >

交 付 先 サンドナイス（成田市）
代 表 者 代表 志 村 一 夫
業 種 砂場清掃サービス、砂場清掃専用機械の開発・販売
業務内容・研究開発内容

【 砂浜清掃専用「篩（ふるい）機」研究開発プロジェクト 】

耕運機を改良（後部に篩を設置）した砂場清掃機“すなっぴー”を開発。

“すなっぴー”は、「①砂場の深くに埋まっているゴミも除去可能」、「②重いゴミも除去可能」、「③湿った砂でも篩にかけられる」等、他社製品にない優位性を持っており、公園や幼稚園の砂場清掃、ゴルフ場バンカーの清掃、砂浜清掃、農地整備等に使われている。

この数年、テレビで取り上げられたこともあって、多くの自治体（ビーチスポーツ向け砂浜の清掃用）やJA（農地整備用）からの引き合いが増えている。

こうしたなか、耕運機の改良型では、ビーチや農地等、広い面積の清掃・整備には時間がかかり対応し難いことから、現在、大型化に向け、トラクターに装着可能な篩機的设计・開発に取り組中。